

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 01 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	7,276,741	7,311,885	7,491,288	7,648,959	7,326,801	7,313,671
決算	7,245,849	7,311,885	7,461,498	7,613,778	7,314,410	7,264,819
人件費(報酬等)(A)	540	540	540	780	780	930
人件費(人工分)(B)	101,600	114,400	114,400	93,800	93,800	100,800
年間経費(決算+A+B)	7,347,989	7,426,825	7,576,438	7,708,358	7,408,990	7,366,549

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
企業債残高	億円	目標	249	249	248	248	248	246
		実績	246	245	242	239	239	239
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 達成
・企業債残高
持続的な水道経営を行うために必要な老朽管更新や耐震化を実施するとともに、その財源となる企業債の借入を計画的に行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	-	○		5,706,270	5,653,043	14.0			1.0	930
2	浜松市水道事業(資本的支出)	-	○		1,660,279	1,660,628					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					7,366,549	7,313,671	14.0			1.0	930

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの 関連性	安全で安定した飲料水の供給								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,464,581	5,484,604	5,445,943	5,607,014	5,514,271	5,653,043
	決算	5,437,888	5,484,604	5,418,832	5,584,447	5,504,827	5,604,540
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,309	0	0	0	0	0
	一般財源	5,368,839	5,423,496	5,362,316	5,451,519	5,446,584	5,547,841
一般会計繰入金	65,740	61,108	56,516	132,928	58,243	56,699	
人件費(報酬等)(A)		540	540	540	780	780	930
人件費(人工分)(B)		101,600	114,400	114,400	93,800	93,800	100,800
人工	正規	14.0	13.0	13.0	13.0	13.0	14.0
	再任用(31h)	1.0					
	再任用(26h)		9.0	9.0			
	会計年度任用職員(人事課予算)				1.0	1.0	1.0
年間経費(決算+A+B)		5,540,028	5,599,544	5,533,772	5,679,027	5,599,407	5,706,270

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
企業債残高(億円)		目標	249	249	248	248	248	246
		実績	246	245	242	239	239	239
職員定数(人)		目標	152	146	146	146	146	146
		実績	151	149	149	145	144	145
他の自治体等との合同防災訓練の実施回数(回)		目標	4	4	4	4	4	4
		実績	3	0	2	4	4	3
啓発事業の開催回数(回)		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	4	0	0	1	1	1
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 水道事業の経営管理
 - ・持続可能かつ健全な経営の推進
 - ・水道料金改定(令和7年2月市議会定例会において給水条例案(令和7年10月1日施行)可決)
 - ・今後10年間に於いて目指す方向性、取組内容、財政収支見通しなどを示す「浜松市上下水道基本計画」を策定
- 水道事業に係る組織・人事管理
 - ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
- 災害対策事業
 - ・他都市連携による防災訓練の実施
- 水道の普及啓発事業
 - ・インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題
指標の達成度
- ・持続的な水道経営を行うために必要な老朽管更新や耐震化を実施するとともに、計画的な企業債の借入により、目標値を7億円下回る239億円となり目標を達成した。
 - ・職員定数については、146人の目標に対して145人の実績となり、計画的に人件費の削減を図ることができた。
 - ・19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づくさいたま市との防災訓練を浜松市を会場として実施、静岡県との情報伝達訓練も実施し他の自治体との連携を強化した。
 - ・上下水道フェスタをプレ葉ウォーク浜北で開催した。上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」を全面的に活用したことで、多くの来場者を集め、水道に対する理解、安全安心の啓発に繋がった。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
- ・令和7年3月に新たに策定した浜松市上下水道基本計画(計画期間:R7~R16)に基づき、10年後の理想の姿として設定した「安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している」を実現できるよう取組を進めていく。



6 事業の見直し (Action)

- (1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- (2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・令和7年3月に新たに策定した浜松市上下水道基本計画(計画期間:R7~R16)に基づき、10年後の理想の姿として設定した「安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している」を実現できるよう取組を進めていく。
 - ・収支状況及び資金残高に関する中長期見通しを定期的に検証する。

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生			
事業とゴールの関連性	安全で安定した飲料水の供給							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,812,160	1,827,281	2,045,345	2,041,945	1,812,530	1,660,628
	決算	1,807,961	1,827,281	2,042,666	2,029,331	1,809,583	1,660,279
	国・県支出						
	市債						4,000
	その他						
	一般財源	1,476,740	1,502,720	1,721,806	1,711,650	1,522,888	1,394,051
一般会計繰入金	331,221	324,561	320,860	317,681	286,695	266,228	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		1,807,961	1,827,281	2,042,666	2,029,331	1,809,583	1,660,279

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
企業債残高(億円)		目標	249	249	248	248	248	246
		実績	246	245	242	239	239	239
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○企業債償還金

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高

持続的な水道経営を行うために必要な老朽管更新や耐震化を実施するとともに、計画的な企業債の借入により、目標値を7億円下回る239億円となり目標を達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・令和7年3月に新たに策定した浜松市上下水道基本計画(計画期間:R7~R16)に基づき、10年後の理想の姿として設定した「安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している」を実現できるよう取組を進めていく。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・令和7年3月に新たに策定した浜松市上下水道基本計画(計画期間:R7~R16)に基づき、10年後の理想の姿として設定した「安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している」を実現できるよう取組を進めていく。

・収支状況及び資金残高に関する中長期見通しを定期的に検証する。

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 02 水道会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	378,861	367,316	358,766	450,636	329,382	307,711
決算	378,861	367,316	358,766	435,605	326,386	303,813
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)						
年間経費(決算+A+B)	378,861	367,316	358,766	435,605	326,386	303,813

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
繰出基準等に基づき、水道事業会計支出金を執行した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	水道事業会計負担金	-	-		299,813	303,711					
2	水道事業会計出資金	-	-		4,000	4,000					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					303,813	307,711					

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 水道事業会計負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	378,861	367,316	358,766	450,636	329,382	303,711
	決算	378,861	367,316	358,766	435,605	326,386	299,813
	国・県支出				85,890	6,444	
	市債						
	その他					590	9,874
	一般財源	378,861	367,316	358,766	349,715	319,352	289,939
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		378,861	367,316	358,766	435,605	326,386	299,813

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 02 水道事業会計出資金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						4,000
	決算						4,000
	国・県支出						
	市債						4,000
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)							4,000

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 03 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	828,915	773,596	880,095	1,218,739	1,204,162	890,149
決算	762,603	714,219	835,993	1,131,566	1,181,926	867,204
人件費(報酬等)(A)	27,684					
人件費(人工分)(B)	205,400	197,600	197,600	199,600	206,600	188,940
年間経費(決算+A+B)	995,687	911,819	1,033,593	1,331,166	1,388,526	1,056,144

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
共同住宅における小規模貯水槽の設置残件数	件	目標	1,540	1,555	1,479	1,364	1,239	1,100
		実績	1,680	1,653	1,638	1,627	1,610	1,603
検針業務等の包括委託		目標	継続	継続	継続	継続	継続	継続
		実績	継続	継続	継続	継続	継続	継続
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている
・浜松市水道事業ビジョンに基づき共同住宅の小規模貯水槽の設置者又は管理者に対し貯水槽の適正管理を推進し、かつ水質劣化の少ない直結給水方式への切替を促進するとともに、実態を把握するため、小規模貯水槽の衛生管理についてのアンケートを実施した。
・より高度なICTを取り入れた機種(最新のスマートメーター等)の導入について、全国規模の検討会議に参加するとともに、関連企業との勉強会及び先行都市への訪問を行い情報収集に努めた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	-	○		986,492	820,214	23.1	2.9		6.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)	-	○		69,652	69,935					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,056,144	890,149	23.1	2.9		6.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- 適正な給水装置工事のため指定工事事業者に対する技術的指導及び水道使用に関する監督・指導を行う。
- 検針業務を始め料金徴収にかかる業務を包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る。
- より高度なICTを取り入れ、検針等の業務の省力化と効率化を図り業務の即時性を高める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生			
事業とゴールの 関連性	安全安心な水道水の提供ができることを継続していく。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	770,652	713,764	735,642	821,090	892,363	820,214
	決算	704,723	655,109	692,105	734,587	870,218	797,552
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	704,723	655,109	692,105	734,587	870,218	797,552
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)		27,684					
人件費(人工分)(B)		205,400	197,600	197,600	199,600	206,600	188,940
人工	正規	27.0	26.0	26.0	26.0	27.0	23.1
	再任用(31h)	3.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.9
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	3.0	3.0	5.0	5.0	6.0
年間経費(決算+A+B)		937,807	852,709	889,705	934,187	1,076,818	986,492

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
指定工事業者の違反行為 (件)		目標	0	0	0	0	0	0
		実績	1	3	5	5	4	4
検針業務等の包括委託		目標	継続	継続	継続	継続	継続	継続
		実績	継続	継続	継続	継続	継続	継続
給排水工事講習動画の1動画あたりの平均 再生回数(回)		目標				300	320	340
		実績				171	319	338
給排水工事講習会動画の満足度(%)		目標				78	80	82
		実績				79	81	80
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業においては、工事講習会動画を作成し、はままつ動画チャンネル(YouTube)で配信した。
- ・給水装置工事の相談・検査業務において、給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導を実施した。
- ・料金収入の安定確保については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図った。
- ・収納関係事務については、業務を委託し事務の効率化と経費の削減を図った。
- ・検針・調定業務については、委託し効率化や経費の削減を図った。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・工事講習会動画計4本の平均再生回数は338回/本で、前年度の平均再生回数319回/本から増加。
- ・料金収入の安定確保については、口座振替やクレジットカード制度を推奨し、新たな滞納発生を防ぐとともに、停水の強化をはじめ滞納分の早期解決を図った。
- ・検針・調定業務及び収納関係事務については、業務委託し効率化や経費の削減を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・スマートメーターについて、関連事業者と勉強会を行い、他都市の実証実験結果や最先端の技術、また検討課題等について情報収集を行うとともに、中山間地域を中心とした検針コストのかかる箇所の実証実験を2024年1月から2024年6月まで実施した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・工事講習会動画については、アンケートを実施して動画の内容を充実し、再生回数を増やしていく。
- ・スマートメーターについては、実証実験の結果を基に費用試算をして、導入の方式及び時期、地域の検討を行う。

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・料金調定システム及びハードウェアリース代
・加入金返還金

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生			
事業とゴールの 関連性	・安全安心な水道水の提供ができるための環境整備を継続していく。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	58,263	59,832	144,453	397,649	311,799	69,935
	決算	57,880	59,110	143,888	396,979	311,708	69,652
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	57,880	59,110	143,888	396,979	311,708	69,652
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		57,880	59,110	143,888	396,979	311,708	69,652

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 04 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・水道施設の適正な維持管理
・給水要望を受けての配水管の布設。
・浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づく基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	4,267,176	4,006,782	4,019,819	4,024,371	3,836,428	4,002,099
決算	3,783,946	3,892,016	3,487,389	3,688,147	3,780,204	3,656,567
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	355,400	354,600	358,800	352,600	356,000	353,600
年間経費(決算+A+B)	4,139,346	4,246,616	3,846,189	4,040,747	4,136,204	4,010,167

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
基幹管路耐震適合率	%	目標	73	76	79	81	80	81
		実績	73.3	76.9	78.7	79.5	80.1	81.7
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・水道施設の適正な維持管理
・給水要望を受けての配水管の布設。
・浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づく基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、目標の基幹管路耐震適合率を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	-	○		791,586	620,959	22.0	1.0		5.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)	○	○		3,218,581	3,381,140	26.0				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					4,010,167	4,002,099	48.0	1.0		5.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ
事業対象 水道配水管および付属施設

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生			
事業とゴールの 関連性	安全な水道水を安定的に供給するため、計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	447,218	440,509	490,315	536,498	631,517	620,959
	決算	385,638	408,937	433,615	510,368	604,028	619,986
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	385,638	408,937	433,615	510,368	604,028	619,986
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		166,400	165,600	169,800	170,600	174,000	171,600
人工	正規	20.0	20.0	21.0	21.0	22.0	22.0
	再任用(31h)	5.0	4.0	4.0	5.0	4.0	1.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	4.0	3.0	2.0	2.0	5.0
年間経費(決算+A+B)		552,038	574,537	603,415	680,968	778,028	791,586

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
漏水率 (%)		目標	4	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7
		実績	7.3	6.8	6.6	6.8	7.1	7.9
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・配給水管維持管理事業
- ・水道地理情報管理システム整備事業
- ・消火栓維持管理事業

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

老朽管の更新や漏水の早期発見、対応に努めているが、前年度より0.8ポイント悪化し、指標達成に遅れが生じている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画的な管路更新と漏水調査による漏水の早期発見により漏水量の縮減に努めた。人工衛星・AIを活用した漏水調査を試験的に採用し、その効果を検証した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画的な管路更新と漏水調査を行い漏水の早期発見に努め、漏水率(量)の縮減を図る。

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象	上水道施設および管路

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-1(1)ア					

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	⑥水・衛生
	安全な水道水を安定的に供給するため、基幹管路の耐震化を優先的に実施する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,819,958	3,566,273	3,529,504	3,487,873	3,204,911	3,381,140
	決算	3,398,308	3,483,079	3,053,774	3,177,779	3,176,176	3,036,581
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,398,308	3,483,079	3,053,774	3,177,779	3,176,176	3,036,581
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		189,000	189,000	189,000	182,000	182,000	182,000
人工	正規	27.0	27.0	27.0	26.0	26.0	26.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		3,587,308	3,672,079	3,242,774	3,359,779	3,358,176	3,218,581

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
基幹管路耐震適合率 (%)	Ⅲ-1(1) ア	目標	73	76	79	81	80	81
		実績	73.3	76.9	78.7	79.5	80.1	81.7
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	06	01	04	007715000	02	水道工事課	原崎 智久	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、目標の基幹管路耐震適合率を達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・基幹管路耐震適合率の早期100%を目指し、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・基幹管路耐震適合率の早期100%を目指し、基幹管路の耐震化を優先して実施する。

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 05 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・水道施設運営管理業務及び水質管理体制の官民連携

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	3,818,749	4,080,223	3,839,814	4,269,878	4,347,572	4,297,558
決算	3,707,621	4,022,695	3,801,355	4,259,151	4,428,928	4,296,613
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	131,800	129,200	125,600	118,600	118,600	119,400
年間経費(決算+A+B)	3,839,421	4,151,895	3,926,955	4,377,751	4,547,528	4,416,013

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水安全計画の策定	%	目標	70	80	90	100	100	100
		実績	70	80	90	100	100	100
水源上流域の調査・危害対応策作成	%	目標	70	80	90	100	100	100
		実績	70	80	90	100	100	100
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・水道施設運営管理業務及び水質管理体制の官民連携

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

- ・安心・安全な水道水給水を安定的に継続した。安全な水の供給を確実にする水道システム「水安全計画」の策定を進めた。市内水道施設65施設(2017経営統合の旧簡易水道含む)を対象として順次策定、策定済み数が65となった。
- ・水源上流部における有害物質取扱い事業所の調査を実施(123物質、576事業所)、リスクレベルを検証した。
- ・施設維持管理のため、施設点検、補修、修繕工事を実施。また、老朽化した機器の更新を実施した。
- ・浄水場の委託業者をモニタリング監督するとともに、協力・連携体制の強化を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	-	○		4,416,013	4,297,558	15.0	4.0			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					4,416,013	4,297,558	15.0	4.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全な水道水を供給するため水道法に基づく定期水質検査及び必要な検査を実施し、その結果を公表し安全な水道水のPRを行う。また、流域水源上流部の化学物質等を排出する事業所の把握等水源水質の監視を行う。必要な水量確保のため、三方原用水や井戸の維持管理を行うとともに県企業局からの受水について調整を図る。取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生				
事業とゴールの 関連性	安全な水道水を供給するため水道法に基づく定期水質検査及び必要な検査を実施し、さらに取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務の健全な運営を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,818,749	4,080,223	3,839,814	4,269,878	4,347,572	4,297,558
	決算	3,707,621	4,022,695	3,801,355	4,259,151	4,428,928	4,296,613
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,707,621	4,022,695	3,801,355	4,259,151	4,428,928	4,296,613
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	131,800	129,200	125,600	118,600	118,600	119,400
人工	正規	17.0	16.0	16.0	15.0	15.0	15.0
	再任用(31h)	2.0	4.0	3.0	3.0	3.0	4.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
年間経費(決算+A+B)		3,839,421	4,151,895	3,926,955	4,377,751	4,547,528	4,416,013

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
水安全計画の策定(%)		目標	70	80	90	100	100	100
		実績	70	80	90	100	100	100
水源上流域の調査・危害対応策作成(%)		目標	70	80	90	100	100	100
		実績	70	80	90	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	06	01	05	007725000	01	浄水課	梅田 晃	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場及び常光浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談 ・簡易水道及び洗管水の水質検査
 - ・水安全計画の策定
- 水源水質保全
 - ・水源上流域の調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・上水)による導水路耐震補強工事及び設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設修繕及び更新工事の実施 ・自家用電気工作物管理
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

○水質検査及び水質管理

水道法等に基づく給水栓等の水質基準51項目検査、原水の水質検査(自主検査)を各水源ごと年間1回以上実施。また水質管理に有用な項目について水道原水(天竜川表流水)の水質検査を実施。市民相談は53件(2024年3月末現在)に対応。

○水源水質保全

水源上流域の調査、自己水源(深井戸)の維持管理を行い水源水質の保全に努めた。三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・上水)の協定書を締結、2015年度から着手。(2026年度の完了予定)

○取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務

計画的な取水・配水及び県水受水を行った。浄水施設維持管理のため委託、工事、補修、自家用電気工作物管理を実施。浄水場委託業者の管理監督を行うとともに協力と連携の体制強化を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和8年4月1日から「PFOS及びPFOA」を現行の水質管理目標設定項目から水質基準へ分類が見直される見込みとなった。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

包括化した浄水場運転管理業務の受託者との連携を進め、安心・安全で低廉な飲料水の供給を継続するとともに、老朽化した施設の適正な修繕・更新を継続している。

また、浄水施設更新のための情報収集を行っている。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

浄水場運転管理業務について2025年度から3年間の委託契約を締結した。モニタリングを充実することにより業務内容・包括委託等の見直しを行い更なる効率化を図っていく。

また、水道アセットマネジメント計画に沿った施設更新に資するため、水処理関連の知見蓄積を継続する。

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 06 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿
(30年後)

◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱
(10年後)

◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・給水要望を受けての配水管の布設。
- ・浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づく基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,932,127	2,167,351	1,809,467	1,736,547	1,752,614	1,694,540
決算	1,967,708	1,954,338	1,910,552	1,652,552	1,702,226	1,578,437
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	200,200	198,600	197,800	187,200	187,200	186,400
年間経費(決算+A+B)	2,167,908	2,152,938	2,108,352	1,839,752	1,889,426	1,764,837

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
基幹管路耐震適合率	%	目標	73	76	79	81	80	81
		実績	73.3	76.9	78.7	79.5	80.1	81.7
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・給水要望を受けての配水管の布設。
- ・浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づく基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、目標の基幹管路耐震適合率を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	-	○		615,874	483,846	19.0	2.0		4.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)	○	○		1,148,963	1,210,694	5.0				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,764,837	1,694,540	24.0	2.0		4.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	安全・安心な水道供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ
事業対象	水道配水管および付属施設

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法・水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	安全・安心な水道サービスを提供するため、計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。また、施設の異常を事前に察知し、安定した水質を確保する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	423,252	454,982	487,052	578,147	564,205	483,846
	決算	405,200	430,041	470,432	559,064	544,749	464,474
	国・県支出						
	市債						
	その他			59,505	74,711	30,838	
	一般財源	405,200	430,041	410,927	484,353	513,911	464,474
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		165,200	163,600	162,800	152,200	152,200	151,400
人工	正規	20.0	20.0	20.0	19.0	19.0	19.0
	再任用(31h)	7.0	5.0	4.0	3.0	3.0	2.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		2.0	3.0	3.0	3.0	4.0
年間経費(決算+A+B)		570,400	593,641	633,232	711,264	696,949	615,874

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
漏水率(%)		目標	4	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7
		実績	7.3	6.8	6.6	6.8	7.1	7.9
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・災害対応の強化

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

老朽管の更新や漏水の早期発見、対応に努めているが、前年度より0.8ポイント悪化し指標達成に遅れが生じている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

人件費、資材等の価格上昇による工事費の増加

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画的な漏水調査の業務委託を実施および職員による調査も併せて実施した。また遠方監視システムの情報を分析し、早期の異常発見と修繕を行うことにより断水事故防止を図った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き計画的な漏水調査の実施及び遠方監視システムの情報分析、職員の漏水調査技術継承と技能向上のための研修等を実施し、漏水等の早期発見に努め断水事故を防止する。

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	耐震化・老朽化対策による施設強靱化や突発的な事象に早期対応できる体制を確立する。
事業対象	上水道施設および管路

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法・水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-1(1)ア					

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	安全・安心な水道サービスを提供するため、基幹管路の耐震化・老朽化対策を優先的に実施する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,508,875	1,712,369	1,322,415	1,158,400	1,188,409	1,210,694
	決算	1,562,508	1,524,297	1,440,120	1,093,488	1,157,477	1,113,963
	国・県支出		21,159				
	市債						
	その他		437,793	347,428	183,293	118,700	24,461
	一般財源	1,562,508	1,065,345	1,092,692	910,195	1,038,777	1,089,502
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		1,597,508	1,559,297	1,475,120	1,128,488	1,192,477	1,148,963

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
基幹管路耐震適合率(%)		目標	73	76	79	81	80	81
		実績	73.3	76.9	78.7	79.5	80.1	81.7
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業(補正要求)
- ・施設改良事業費
- ・消火栓設置事業(改良費)
- ・安定供給システムの構築



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・老朽化した水道管路及び漏水の多い脆弱な水道管路の更新を計画的に実施した。
- ・国庫補助金を活用した管路耐震化事業に着手した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

人件費、資材等の価格上昇による工事費の増加

国が進める国土強靱化施策(上下水道施設の戦略的維持管理・更新)への対応



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・老朽管等の更新を計画的に実施した。避難所等の重要給水施設に接続する水道管路の耐震化計画を策定した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

広域断水が懸念される老朽管等の更新を計画的に実施する。

大規模災害に備えるため、重要給水拠点施設に接続する水道管路の耐震化を合わせて実施していく。

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 07 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・水道施設の適正な維持管理
・給水要望を受けての配水管の布設。
・浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づく基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	719,599	946,370	1,005,963	993,379	1,164,518	1,033,378
決算	699,599	849,548	987,121	956,053	1,130,521	941,439
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	121,400	121,400	121,400	72,200	72,200	72,200
年間経費(決算+A+B)	820,999	970,948	1,108,521	1,028,253	1,202,721	1,013,639

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
基幹管路耐震適合率	%	目標	73	76	79	81	80	81
		実績	73.3	76.9	78.7	79.5	80.1	81.7
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・水道施設の適正な維持管理
・給水要望を受けての配水管の布設。
・浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づく基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、目標の基幹管路耐震適合率を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	-	○		433,185	386,118	7.0	1.0		2.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)	○	○		580,454	647,260	2.0				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,013,639	1,033,378	9.0	1.0		2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	適正な水道水供給のため、水道施設および管路を正常な状態に保つ
事業対象	水道施設および管路

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法、水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	安全な水道水を安定的に供給するため、計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	263,006	297,988	380,353	366,640	338,924	386,118
	決算	263,006	284,988	356,297	356,658	328,986	374,985
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	263,006	284,988	356,297	356,658	328,986	374,985
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		65,400	65,400	65,400	58,200	58,200	58,200
人工	正規	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	再任用(31h)	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
年間経費(決算+A+B)		328,406	350,388	421,697	414,858	387,186	433,185

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
漏水率 (%)		目標	4	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7
		実績	7.3	6.8	6.6	6.8	7.1	7.9
水安全計画の策定(%)		目標	70	80	90	100	100	100
		実績	70	80	90	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

漏水率(遅れている)

・老朽管の更新や漏水の早期発見、対応に努めているが、前年度より0.8ポイント悪化し、指標達成に遅れが生じている。

水安全計画の策定(%)(計画通り)

・安全な水の供給を確実にする水道システム「水安全計画」の記載内容の確認をした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

結果の振り返り 小項目 / 事業費 人工

・計画的な管路更新と漏水調査による漏水の早期発見により漏水量の縮減に努めた。人工衛星・AIを活用した漏水調査を試験的に採用し、その効果を検証した。

(2) 当年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

今後の方向性 小項目 / 事業費 人工

・計画的な管路更新と漏水調査を行い漏水の早期発見に努め、漏水率(量)の縮減を図る。

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象	上水道施設および管路

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-1(1)ア				

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	⑥水・衛生
	安全な水道水を安定的に供給するため、基幹管路の耐震化を優先的に実施する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	456,593	648,382	625,610	626,739	825,594	647,260
	決算	436,593	564,560	630,824	599,395	801,535	566,454
	国・県支出	18,000	25,854	22,906		20,000	8,818
	市債						
	その他						
	一般財源	418,593	538,706	607,918	599,395	781,535	557,636
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	56,000	56,000	56,000	14,000	14,000	14,000
人工	正規	8.0	8.0	8.0	2.0	2.0	2.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		492,593	620,560	686,824	613,395	815,535	580,454

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
基幹管路耐震適合率 (%)	Ⅲ-1 (1)ア	目標	73	76	79	81	80	81
		実績	73.3	76.9	78.7	79.5	80.1	81.7
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、目標の基幹管路耐震適合率を達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・基幹管路耐震適合率の早期100%を目指し、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・基幹管路耐震適合率の早期100%を目指し、基幹管路の耐震化を優先して実施する。

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 08 飲料水供給施設費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

(1)衛生管理を促すとともに、施設修繕により、安全で安定した飲料水の確保を支援する。
(2)人口減少を踏まえ、より効果性と経済性の高い改良更新整備により、安全で安定した飲料水の確保を支援する。
(3)地域の水道として必要な知識・技術の継承に努め、地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理による、安全で安定した飲料水の確保を支援する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	51,587	41,475	38,241	26,939	38,609	39,401
決算	48,921	38,940	26,927	35,719	37,444	38,206
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	40,720	40,720	40,720	40,720	40,720	40,720
年間経費(決算+A+B)	89,641	79,660	67,647	76,439	78,164	78,926

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水質検査受検率	%	目標	95	96	97	98	99	100
		実績	91	90	97	100	100	100
水質適合率	%	目標	95	96	97	98	99	100
		実績	81	77	80	84	96	92
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

(1)維持修繕により、安全で安定した飲料水の確保を支援した。
(2)より経済的で効果的な改良更新整備を行い、安全で安定した飲料水の確保を支援した。
(3)水質検査を含む維持管理費用を助成し、安全で安定した飲料水の確保を支援した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている
・水質検査受検率の向上
水質検査未実施の飲料水供給施設に対し、衛生管理の必要性を伝えて受検を促し、受検率が向上した。
・水質適合率
水質への過信により、一部で適正な維持管理が行われなかった。引き続き衛生管理の必要性及び適正な維持管理を呼び掛けていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	飲料水供給施設維持管理事業	-	-		38,264	24,183	1.8	0.6			
2	飲料水供給施設整備事業	-	-		24,405	9,325	2.0	0.3			
3	飲料水供給施設管理助成事業(補助金)	-	-		16,257	5,893	1.4	0.3			
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					78,926	39,401	5.2	1.2			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 飲料水供給施設維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

衛生管理を促すとともに、施設維持修繕により、安全で安定した飲料水の確保を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	経済性ある施設改修と効率的かつ効果的な維持管理により、安全で安定した飲料水の確保を支援する

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	29,711	26,792	29,419	18,222	26,745	24,183
	決算	28,181	25,715	18,892	27,126	26,063	23,504
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,766	1,437	1,716	1,594	2,202	2,176
	一般財源	26,415	24,278	17,176	25,532	23,861	21,328
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		14,760	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760
人工	正規	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
	再任用(31h)	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		42,941	40,475	33,652	41,886	40,823	38,264

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

飲料水供給施設の維持修繕のほか、事業活動全般に関する事務等を行った。
(公設飲料水供給施設133施設)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

漏水等の緊急修繕等を実施し、安全で安定した飲料水の確保を支援した

施設維持修繕 49件 21,781千円

維持管理支援事業 19件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設は、現施設を可能な限り使用し続けるために必要な維持修繕を行うとともに、維持管理が大きな負担となっている水道組合には、地域の水道業者による、効率的で効果的な維持管理の指導を行い、施設の長寿命化と利用者の負担軽減に努めた

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

過疎化と高齢化により人口減少はより進むと思われる、施設の更新は過剰な投資に繋がりがかねない。部分改修により現施設を可能な限り使用し続けるとともに、適正で効率的な維持管理と、有事における対応に備え、地元水道業者との連携を深める中で、安全で安定した飲料水の確保を支援していく

事業シート (事業名) 02 飲料水供給施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

飲料水供給施設の施設整備を行い、安全で安定した飲料水の確保を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	経済性ある施設改修により、安全で安定した飲料水の確保を支援する

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	16,303	8,812	3,460	3,402	5,894	9,325
	決算	16,135	8,348	3,300	3,401	5,883	9,325
	国・県支出						
	市債	11,800	5,000	1,000	3,000	3,200	4,400
	その他	1,613	835	330	340	588	932
	一般財源	2,722	2,513	1,970	61	2,095	3,993
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		15,080	15,080	15,080	15,080	15,080	15,080
人工	正規	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用(31h)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		31,215	23,428	18,380	18,481	20,963	24,405

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
消毒設備設置率(%)		目標	89	95	95	95	98	100
		実績	94	94	94	96	96	95
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

上百古里飲料水供給施設送水ポンプ更新工事
仙戸飲料水供給施設配水管布設替整備工事
筏戸飲料水供給施設ろ過機逆洗ポンプ更新整備工事
高杉飲料水供給施設空気弁設置整備工事
平城飲料水供給施設流量計整備工事
尾曲飲料水供給施設調圧水槽更新整備工事
中羽根飲料水供給施設配水池濁水表示灯整備工事
長蔵寺北楠子飲料水供給施設配水管布設替整備工事
峰熊飲料水供給施設配水管布設替整備工事



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

飲料水供給施設整備工事 9件 9,324,700円

・消毒設備未設置施設への新規設置に至ることはできなかった。衛生管理の必要性についての啓発を行うことで、引続き設置促進を図る。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
人口減少が進む中で、過剰な投資とならぬように経済性を踏まえた工法で事業費の削減を図った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
人口減少が進む中で、過剰な投資とならぬように工法を検討し事業費の削減を図っていく。

事業シート (事業名) 03 飲料水供給施設管理助成事業(補助金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

飲料水供給施設の水質検査及び維持管理委託費用の一部を助成し、適正な維持管理により安全で安定した飲料水の確保を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	効率的かつ効果的な維持管理により、安全で安定した飲料水の確保を支援する

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,573	5,871	5,362	5,315	5,970	5,893
	決算	4,605	4,877	4,735	5,192	5,498	5,377
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,000	3,000	2,000	3,000	3,000	3,311
	一般財源	1,605	1,877	2,735	2,192	2,498	2,066
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		10,880	10,880	10,880	10,880	10,880	10,880
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
	再任用(31h)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		15,485	15,757	15,615	16,072	16,378	16,257

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
水質検査受検率(%)		目標	95	96	97	98	99	100
		実績	91	90	97	100	100	100
水質適合率(%)		目標	95	96	97	98	99	100
		実績	81	77	80	84	96	92
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- (1)水質検査に対する助成
- (2)維持管理の委託費用に対する助成



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- (1)水質検査に対する助成 133施設
- (2)維持管理の委託費用に対する助成 61施設

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
昨年度達成した水質検査実施率100%を維持することが出来た。また水質検査適合率については、天候(降雨)による悪影響などもあると考えられるが、目標値に達することが出来ず前年度から低下してしまった。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
衛生管理の重要性を理解していただくように努め、水質検査実施率の維持・適合率の向上を図る。

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 09 小規模水道施設費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

特定未普及地域の住民が行う水道施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成し、安全で安定した生活用水の確保を支援する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	5,126	4,763	2,551	9,744	4,361	6,390
決算	4,762	4,464	1,529	9,616	3,879	6,382
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	8,480	8,480	8,480	8,480	8,480	8,480
年間経費(決算+A+B)	13,242	12,944	10,009	18,096	12,359	14,862

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成し、安全で安定した生活用水の確保を支援した

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成し、安全で安定した生活用水の確保を支援した

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	生活用水応援事業	-	-		14,862	6,390	0.8	0.8		
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					14,862	6,390	0.8	0.8		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 生活用水応援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

特定未普及地域に居住する市民が、安全で安定した生活水の確保を支援する

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2009	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生			
事業とゴールの 関連性	経済性ある施設改修と効率的かつ効果的な維持管理により、安全で安定した生活水の確保を支援する							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,126	4,763	2,551	9,744	4,361	6,390
	決算	4,762	4,464	1,529	9,616	3,879	6,382
	国・県支出						
	市債						
	その他	10	2,190	107	2,059	2,051	4,760
	一般財源	4,752	2,274	1,422	7,557	1,828	1,622
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,480	8,480	8,480	8,480	8,480	8,480
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用(31h)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		13,242	12,944	10,009	18,096	12,359	14,862

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成した。また、水道未普及地域の濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行った。

施設改修 11件、水質検査 12件、維持管理委託 7件、臨時給水 36件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

特定未普及地域は、水道施設等の設置及び維持管理を自己責任と自己負担で行っているため、施設改修、水質検査及び維持管理委託の費用の一部を助成する補助制度を創設し、衛生管理の必要性和費用負担の軽減を図った。また、水道未普及地域の濁水や濁水で生活用水の確保が困難な世帯には、臨時給水を行い、住み慣れた地域でいつまでも生活できるように努めた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

特定未普及地域の状況把握に努め、安全で安定して飲料水が確保できるよう引き続き支援していく

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 10 水道会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

公営水道が提供できていない地域に居住する市民の、生活用水の確保支援を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	51,334	51,712	52,176	52,120	51,988	52,388
決算	51,334	51,712	52,176	52,120	51,988	52,388
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	49,200	49,200	49,200	44,800	44,800	44,800
年間経費(決算+A+B)	100,534	100,912	101,376	96,920	96,788	97,188

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

公営水道が提供できていない地域に居住する市民が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、生活用水が確保できるよう支援した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、水道施設の改修工事を実施するほか、維持管理費の助成、適正な維持管理の指導、臨時給水などを行い、生活用水が確保できるよう支援した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	水道事業会計負担金	-	-		97,188	52,388	6.0			1.0
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					97,188	52,388	6.0			1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 水道事業会計負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公営水道が提供できていない地域に居住する市民が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう飲料水を始めとする生活用水が確保できるよう支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生			
事業とゴールの 関連性	経済性・効率性・効果性を踏まえた中で、安全で安定した生活用水の確保を支援する							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	51,334	51,712	52,176	52,120	51,988	52,388
	決算	51,334	51,712	52,176	52,120	51,988	52,388
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	51,334	51,712	52,176	52,120	51,988	52,388
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		49,200	49,200	49,200	44,800	44,800	44,800
人工	正規	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	再任用(31h)	2.0	2.0	2.0			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				1.0	1.0	1.0
年間経費(決算+A+B)		100,534	100,912	101,376	96,920	96,788	97,188

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

支援事業に従事する職員の人件費を水道事業会計に支出した

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

支援事業に従事する職員の人件費を水道事業会計に支出した

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
水道施設に精通する技術職員が減少する中で、安全で安定した生活用水の確保の支援に努めた

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
地域水道として、地域の水道事業者との連携を模索する中で支援を検討する